

軍極秘

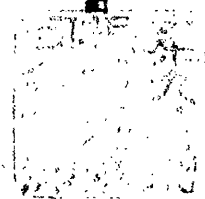
九特根機密第二五號ノ七

自昭和十九年七月一日  
至昭和十九年七月三十一日

第九特別根據地隊戰時日誌

第九特別根據地隊

19.7.



0173

197

目次

- 一 經過
- 二 人員ノ現状
- 三 令達報告等
- 四 參考
- 五 作戰經過概要

(目次終)

0174

自昭和十九年七月一日 第九特別根據地隊戦時日誌  
至昭和十九年七月三十一日

一 經過

(一) 敵軍ノ狀況

一、マラッカ海及「サバン」近海ニ於ケル敵潜水艦ノ活動ハ前月ニ引キ續キ相変ニ大膽且  
執拗ニテ小舟艇ヲ對シテ砲戦ヲ及履ニ式ハ白晝堂々水上航走ヲ行フ等誠ニ眼ニ余  
ルモノアリ

一方印度洋正面ニ於ケル敵空軍及艦隊ノ策動ハ漸ク活潑トナリ印緬戦線ニ  
於ケル敵反惠ノ頂當ニシテ甚ニ強攻ノ氣配濃厚ヲ加ヘ一應ノ我防備力打  
診ト海上交通遮断策戰ハ効果檢討後ハ真剣ニル場陸作戦實施ノ算極  
メテ大ナリ

二、敵潜水艦ハ七月九日「サバン」間ノ海面ニ於テ軍馬部配屬ヲシテ丸ニ對シ砲  
連ヲ加ヘ我ニ火災ヲ生ゼシム

三、七月十七日敵潜水艦ヲ「サバン」灣口ニ聴知、衛祈隊、第四号敷設艇及陸軍  
重爆(機)協同シテ之ヲ捕流ス

(詳細四敷設艇詳報及衛隊戦詳報第十八號参照)

四、七月十八日特駆潜水艇馬丸ト喜久丸ト加茂丸内地ヨリ進出中北緯八度四四分東經

一六度四分北緯八度四分東經一六度三分間ニ於テ敵潜水艦ト交戦、馬丸  
沈没加茂丸行方不明トナレリ

五、七月五日、戦艦四、巡洋艦五、駆逐艦九、及空母潜水艦若干ヲル敵機動部隊  
 一、我軍ノ状況  
 二、我軍ノ護衛ノ充實スベキ點ニテ、担任海面敵潜水艦出現ノ情報ヲ得ルモ  
 三、航空兵力ノ素接ノ予期シ得ル現状ニ即應スベク全力ヲ拵ケテ防備強  
 化ニ邁進スツベキナリ

(三) 作戦指揮官  
 (二) 任務編制

區分	指揮官	主要任務
隊部地據根ヲマ	第九特別根据地隊	第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊 第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊 第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊
官令司隊地據根別	第九特別根据地隊 第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊 第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊 第一〇二防空隊 第四〇二防空隊 第五〇二防空隊	一、スマトラ西岸防備警戒 二、スマトラ方面航空基地整備 三、海上交通保護 四、關係陸軍ト連絡

	ヤジラタフ 隊遣派	シクンベ 隊遣派	ガルボシ 隊遣派	ンダバ 隊遣派
	上全 官揮指	上全 官揮指	上全 官揮指	上全 官揮指
	コタラシヤ 隊遣派	一ベニタレン 一ブリンピン 分遣隊	一ニホルガ 一ニマス 一シマルル 吉成丸 分遣隊	一バガン 一バガイ 第 三日吉丸 分遣隊
	一コタラシヤ 飛行場、整備	一ベニタレン ニ所在陸軍ト、連絡	一ニホルガ ニ入泊艦船、補給港務 ニ所在陸軍ト、連絡	一バガン ニ入泊艦船、補給港務 ニ所在陸軍ト、連絡

(四)

麾下艦船部隊行動

(七月)

考	備

19. 7.

八	七	六	五	四	三	二	一	
								第五關洋丸
								相丸
	マニラ 一五〇 着	サンセルナン 一〇〇〇	サンセルナン 一六三〇		車城 〇七〇〇	高雄寄 九〇〇 東城局	高雄破泊	喜久丸
	全上	全上	全上		全上	全上	高雄破泊	加茂丸
	全上	全上	全上		全上	全上	高雄破泊	鞍馬丸
/								第二山丸
/								第十勇島丸

0178

二一	二〇	一九	一八	一七	一六	一五	一四	一三	一二	一一	一〇	九
				終 理	取 体 核 査							
ラ ガ ア ン 登	五 三 〇 三 五 七 着	〇 六 三 〇 タ シ 奇	〇 六 三 〇 タ シ 奇	ク ダ ト 着	一 三 三 五		〇 八 四 〇 マ ニ ラ 登					
				附 送 警 戒 口 〇 〇 四 五 部 首 文 行 方 不 明 ト ル 毒 ヲ 更 々 沈 没			合 上					
							合 上					

事記	三一	三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二
			後南園興 時時空 敬言				對空水或汁 於子沈没			
				昭南 一四五〇		〇二二〇 〇七四五		一八〇〇 三リ		〇九三〇 三リ

19. 7.

0180



二、人員、現狀

(一) 主要職員、官氏名

職名	戦闘配置	常務配置	官階	氏名	名記	事
司令官			少將	廣瀬	未人	
副官		通 信 職 務 執 行 長	中佐	吉田	章房	
參謀			大尉	多田	和夫	
軍醫長		第六分隊長	医少佐	上川	誠一	
支隊長		第七分隊長	主少佐	松浦	太郎	
大隊長	同上	第一、三、四分隊長 大隊長職務執行 第六隊長兼航海隊長 第六隊長職務執行	大尉	後藤	梅吉	衛兵司令
外務部長			大尉	黒田	昇	
内務部長		第二分隊長	大尉	菊地	新三郎	
衛生部長		第六分隊長	医大尉	野塚	隆基	
不詳隊附			医大尉	後藤	典信	

97

第一分隊長	連隊附	連隊附	九狼附	原務主任	...	...	...	...	...	...	...	...
				"	"	"	"	"	"	"	"	同上
第一分隊士	第六分隊士			第七分隊士		第五分隊士	第三分隊士	第二分隊士	第七分隊士		第四分隊士	第一分隊士
少尉	中尉	連中尉	連中尉	主中尉	主中尉	中尉	中尉	中尉	主大尉	主大尉	主大尉	大尉
高橋武男	川井尚文	高橋杏助	齊藤盛夫	青柳謙一	川島廣守	井上長四郎	金子甚三郎	戸叶安藏	岡田聰	西村寧爾	長瀬一	服部宗一郎
衛兵副司令												

0182

外港砲台 中隊長	同	上	第二分隊	少尉	酒井	勉
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	高橋	信次
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	真田	實
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	森	昌一
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	窪木	辰信
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	前島	正男
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	高橋	齋
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	二橋	汎
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	岩	榮藏
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	小林	西
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	室井	久
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	上田	寛
小隊長	同	上	第二分隊	少尉	岡村	清一

8810

0183

再艇隊長	掌暗号長	掌通信長	長鳴砲台	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	小隊長	工業小長	水警隊附	衛生隊附	廿六分防備
"	同上	指揮部	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	同上		
第五分隊士	第四分隊士	第四分隊士	第二分隊士	第二分隊士	第二分隊士	第二分隊士	第二分隊士	第三分隊士	第一分隊士	第五分隊士	第五分隊士				
兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	工曹長	兵曹長	技少尉			
木内 重雄	佐藤 榮	永島 正藏	山本 勇	小林 茂春	大貫 國次	伊藤 義榮	神田 文雄	保良 榮二	長我部 章治	大坂 芳雄	保科 珍平	堀 康弘			

少隊長	掌櫃長	補充部附	庫理長	掌櫃長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	分遣隊長	砲台長
同		同	主計隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	分遣隊附	同上
上		上	第七分隊士	第七分隊士	第三〇分隊士	第三〇分隊士	第二〇分隊士	第二〇分隊士	第一〇分隊士	第一〇分隊士	第一〇分隊士	第二分隊士	
上曹長	主曹長	主曹長	主曹長	主曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長	兵曹長
老永	佐藤	田中	君和田	渡邊	山崎	稲葉	川崎	三瓶	山形	佐谷	伊藤	伊藤	伊藤
節男	又七	光充	彦之助	智美	三二	勝次郎	保	波由	正吉	普	博助	博助	
代理													

(二) 下士官兵其他員數

記事	員數	兵種	兵科	械科	砲科	工作科	看護科	主計科	其他	計	
一 第四補充部 二 其他 捕判任通譯判任卸便所員備人	一、二一九										
	一八〇										
	五一										
	二九										
	七二										
	一二										
	一五六三										

(三) 陸下艦隊部隊員數

記事	員數	區分	主官	特准	下士官	兵	其他	計
陸下艦隊部隊 第五團洋丸 喜久丸	二				九	二七		三八

三令達報告等

37

發日時	受日時	令達報告等	種別
二日一七四〇 ニアス	705 司令官 705 各分遣隊	潜望鏡見ユ E 97 54 65 77 針路北 (五三〇) 陸軍情報 一七一五 ニアス 機密 〇四一九四九番電 バダン派遺隊ハ機密四ヲ残シ雁ニ補給シ差支ナシ ニカバン九及ヒ魚雷艇一十日頃當地岬港ヨリボルガ基由ヨバダン ニ派遺「セメント」輸送ニ從事セシメラルル魚雷艇ハシボ九カ連ハ 又爾後ハ百十号ヲシテ護導ヲ任セシメラルルバダンヘ機 密ニシテ搭載ス各派遺隊ニ於テハ要望ヲ品アラバ至急知リセ	線 魚
四日一九四九 905 司令官	クニ三四五 バダン派長 シボガ派長	空襲被害報告令(カバン)〇五三七 解除(カ)〇六一五 機密守〇九一三四〇番電 小型船一隻オレシカカ面進行中 炎上ニシテ距離ニ三料(目下炎上中)一ニ三五	線 魚
九日二三四〇 905 司令官	クニ三〇一 905 司令官	機密守〇九一三四〇番電 小型船一隻オレシカカ面進行中 炎上ニシテ距離ニ三料(目下炎上中)一ニ三五	線 魚
〇日一三一六 8AB 指揮官	クニ一四二五 905 司令官	機密守〇九一三四〇番電 一ノボロサパン丸バロハン西岸ニテ敵潜ノ砲撃ヲ受ケ炎上大奔散 隻ヲ以テ救護中 三ノ五空ハ砲攻一枚ヲ以テ右敵潜ヲ攻撃スベシ	線 魚

0187

<p>9abg 司令官</p>	<p>隊 司令官</p>	<p>28g 司令官</p>	<p>11cgy 司令官</p>
<p>西方部隊</p>	<p>各司令官 聖蹟丸 敷設四</p>	<p>司令官 七、五空</p>	<p>司令官 九、六空</p>
<p>陸軍情報 機密第一三一四番電 〇五三〇頃、バンガラ、フィリピン上空にて敵機一機照明弾投下ス 〇三〇五ヤバン上空ヲ通過ノ敵機ト認ム</p>	<p>機密第一三一四番電 六日没時ヨリ十一號潜水隊(第七號駆潜艇)ハヤバン島ヲスマ ト巨南(アル島)以東ニ並ニヤバン島南方ニ運テ遺棄 諸機ヲシテ、會合現場附近ノ索敵ニ任ズ(味方飛行機三機魚 雷艇二隻協力)ヲシテ九機帆船(ハロハ)ヲ運入港ス 三、今朝味方飛行機一機協力中、敵情ヲ得ズ 四、ヤバンニ向テオレト陸軍機帆船(三七隻)無事航行中 護イテ兼ネツツアリ</p>	<p>機密第一三一四番電 第八空襲部隊機密第一九一三三六番電 ヤバン九ヨリラン九ニ訂正ス</p>	<p>機密第一九一四〇番電 機密第一九一三三六番電ニ依リ利水丸(九九護イ)ハヤ バンニ避退センメ、八オレト沖敵潜水艇ニ向テ</p>
<p>線 無</p>	<p>線 無</p>	<p>線 無</p>	<p>線 無</p>



<p>9a8y 司令官</p>	<p>敷設 四</p>	<p>四敷設</p>
<p>對潛情報 着艦所</p>	<p>1kF 長官 28SF 司令官</p>	<p>14 25kg 1298y 司令官 28SF</p>
<p>對潛警報(陸軍)キ報告(八日一二五五) ルニ効果不明</p>	<p>機密第一八一五番電 湖流マル五合由油... 約五... ト認... 機密第一八一五番電</p>	<p>機密第一二〇番電 七日一四七... 四〇〇米... 八油... 後二... 後約四分... 大遊幅... 卓附... 果確...</p>
<p>"</p>	<p>"</p>	<p>線 無</p>

三航軍参 " 一四〇 9aBq 司令官	9aBq 司令官 " 一〇五五 飛行九師 西方部隊	9aBq 司令官 " 一〇〇〇 大臣各長官 所屬長官	9aBq 司令官 " 〇九四五 北中部スラ	9aBq 司令官 " 〇九四三 火海 各長官 SHB	9aBq 司令官 " 〇九一〇 西方	9aBq 司令官 " 〇九一〇 北中部スラ
三航軍参 飛行第五八戦隊 三九戦隊	機密第二五二四〇番電 使用差支ナシ 被害ナシ	アレシヨ一	敵戦艦 = 甲巡四乙巡五見ユ サバシ信号所、三一四度三五〇〇	機密第二五〇九四三番電 〇九三五敵巡洋艦駆逐艦砲臺開始一時間、後西北方 ニ避退中駆逐艦八湾内ニ突入湾内ヲ砲撃セリ目下ニ機 数機ニ空ニアリ	戦艦ニ巡洋艦五三一五度三万 サバシニ近接シ、下リ輸送取ヲ認メズ	機密第二五〇八四〇番電 敵機九機全部單發目下団銃集中
" "	" "	" "	" "	" "	" "	線無

0190









10 98	"	9aB9 司令官	9aB9 司令官	六日 一三三	灘 参
9aB9 司令官	"	9aB9 看機	1009 4/10 98	リ 一三三	9aB9 司令官
及 八五九 イロ ン 東 方 測 定 英 磁 本 國 方 面 宛	機 密 第 二 八 一 四 一 番 電	機 密 第 二 八 一 三 四 六 番 電	機 密 第 二 八 一 三 四 六 番 電	機 密 第 二 八 一 四 一 番 電	機 密 第 二 八 一 三 四 六 番 電
"	"	"	"	"	線 点

0195





22

<p>シボルガ派 一四四〇</p>	<p>サバン丸 一四四一</p>	<p>大海参三隊長 一八〇〇</p>	<p>9459 司令官</p>	<p>二九日一七二五</p>
<p>9459 司令官</p>	<p>9459 司令官</p>	<p>9459 司令官</p>	<p>9459 各派遣隊長</p>	<p>二二四七</p>
<p>機密第一三〇一三四〇番電 敵者ノ雷惠ニ奉テ受ク損害ヲシシボルガ共外ニ五哩</p>	<p>敵側放逐ニ依テ二十五日ヨリサバンニ未蒙セルハ英蘭艦艇ニ ンテ駆逐艦三巡洋艦一港内ニ侵入砲撃セリト</p>	<p>機密第一九一八〇〇番電 敵側放逐ニ依テ二十五日ヨリサバンニ未蒙セルハ英蘭艦艇ニ ンテ駆逐艦三巡洋艦一港内ニ侵入砲撃セリト</p>	<p>三被害 二作部中破 航空基地 通信所 大破 相丸沈没 家屋 若干 尖上 戦死 三員 傷者 若干 四所見 敵ハ上陸ヲ企圖ス 母艦(小又ハ特)一級 機密第一九一七二五番電 自根機附機第一三〇一三四〇番電 多隊機斗機第一三〇一三四〇番電 基地九二五機八機未蒙銃果又迄三度英彈投擲九 四〇軍退(一)第ニコ夕迄ヤ基地九二五機載機十五機以上未 蒙銃果ヲ追加ス 第一三〇一三四〇番電 真陸セシメタリ内要陸確認三機コ夕ラジヤ方面要陸三機 (内不確実)ニ訂正ス 〇、ニ、フ、エ、ニ、見張報一〇〇回 三、一度ニ三將彼我不明 ノ飛行機潜水艇ヲ攻撃潜水艇一基沈ヲ確認(前電敵 潜水艇一略確シタルトハ別ノモチリ)ヲ追加ス</p>	<p>線</p>
<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>〃</p>	<p>魚</p>	<p>〃</p>

0197



63

<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>
<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>
<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>
<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>	<p>シボルグ派</p>

0199

<p>九ノ師団参 クニニロロ</p>	<p>1009</p>	<p>三〇日三三〇 SUB 司令官</p>	<p>三〇日三三五</p>
<p>九ノ師団司令官 クニニエロ</p>	<p>SUB 司令官 情報</p>	<p>三〇日三三〇 ハダツ ミホルガ 致</p>	<p>三〇日三三五</p>
<p>九ノ師団参電第一六七號 詳細不明ナルモ左記通信詳報アリ バンガル湾南部ニ艦艇アリテニエロホトヲ中継トシ潜水艦 ニ對シ連絡セリ</p>	<p>1 情報 左記事象ハ敵由ビ策動開始ノ兆トモ認めラル 一 二八日ヨリ潜水艦電報増加三〇日十通(内五通以テ急電報) 二 二九日ヨリ潜水艦電報増加三〇日十通(内五通以テ急電報) 三 三〇日ヨリ潜水艦電報増加三〇日十通(内五通以テ急電報) 四 三〇日ヨリ潜水艦電報増加三〇日十通(内五通以テ急電報)</p>	<p>機密第三三三三番電 八根電令下第二號 魚雷艇ヲ敵艦シ護シテニエロシメヨ 一 九ノ師団司令官ハハシホルカ以後 一 九ノ師団司令官ハハシホルカ以後</p>	<p>破砕シテ進入セリ終南且交ヘシ際ニテハ斷崖ニ接岸ト同時 ニ格艦ノ甲板ヲ上昇シ陸上ト同一手西トテテ戦車ヲ揚 格セリト云フ ニ書内ノ上陸戦斗ニ於テハ戦車多數主力トシテ其ノ二空ニ對シ テ常時十数機ヲ飛行機ヲ配シ漆黒ニ艦砲射表 ヲ空施障出口物排給シテ終始半ラ進セリト</p>
<p>シ</p>	<p>シ</p>	<p>線 無</p>	<p></p>

0200



二		一		日	所在
ン		バ、サ		六時前	現象 視氣 風向 風速
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十	南 南 南 南 南 南 南 南 南 南	南 南 南 南 南 南 南 南 南 南	南 南 南 南 南 南 南 南 南 南	正午	(并) 湿度
六時後	一 般 特 別				
聯 入				仕 務 仕 務	
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十				主 要 行 動	
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十				主 要 作 業	
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十				記 事	

0202

45

五 四 三

バ サ

高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四
晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四	高島雲 南由四南四
五	五	五	五	五	五	五	五
三七四	三七四	三七四	三七四	三七四	三七四	三七四	三七四
三五二	三五二	三五二	三五二	三五二	三五二	三五二	三五二
三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
三一一	三一一	三一一	三一一	三一一	三一一	三一一	三一一
二五二	二五二	二五二	二五二	二五二	二五二	二五二	二五二
二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二
二一四	二一四	二一四	二一四	二一四	二一四	二一四	二一四

合

マ

<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>
<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>
<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>
<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>	<p>吉野丸 加茂丸 七〇日車隊</p>

4050

0203

八	七	六
薄雲 薄雲 快晴 南 南 南 五 四 六 二七六 三〇一 三二六 二一四 二〇一 二〇一	薄雲 薄雲 晴 東 南 二四 五 三 二 三 一 二一四 二〇四 二〇一	薄雲 薄雲 晴 南 南 南 一 二 六 二四 六 三 〇 六 三 六 四一 〇 三 〇 三 〇

隊 艦

	一 薄雲丸 加茂丸 二 薄雲丸 加茂丸 三 薄雲丸 加茂丸 四 薄雲丸 加茂丸	一 薄雲丸 加茂丸 二 薄雲丸 加茂丸 三 薄雲丸 加茂丸 四 薄雲丸 加茂丸
	一 薄雲丸 加茂丸 二 薄雲丸 加茂丸 三 薄雲丸 加茂丸 四 薄雲丸 加茂丸	一 薄雲丸 加茂丸 二 薄雲丸 加茂丸 三 薄雲丸 加茂丸 四 薄雲丸 加茂丸

0204



二	口	九
ナ		
南五、南之西、南四七 二六、二九、五三、六 二一、四三、一四、三〇	南之西、南之西、南四七 二六、二九、五三、六 二一、四三、一四、三〇	南之西、南之西、南四七 二六、二九、五三、六 二一、四三、一四、三〇

西

一、大、中、小、船、ガ、ン 二、大、中、小、船、ガ、ン 三、大、中、小、船、ガ、ン 輸送ニ従事		一、大、中、小、船、ガ、ン 二、大、中、小、船、ガ、ン 三、大、中、小、船、ガ、ン 輸送ニ従事
大、中、小、船、ガ、ン 輸送ニ従事	大、中、小、船、ガ、ン 輸送ニ従事	大、中、小、船、ガ、ン 輸送ニ従事

三	三	三
薄雲	薄雲	薄雲
南西	南西	南西
五	四	四
二七	二二	二二
二一	二一	二一

方  
根

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百
---	---	---

0206

47.

五	天	七
南之西 南三 南之西 二七、七 二九、八 三一、〇 〇五、一 〇四、〇 〇一、四	南之西 南六 南七 二七、〇 二八、八 三〇、三 一、二 〇一、五 〇一、五	南之西 南東三 二五、〇 二八、一 三〇、三 〇一、二 〇一、五 〇一、五

部  
據

<p>海軍丸が被丸          島丸          〇八〇〇 マニラ等</p>	<p>去冬丸一〇〇敵被取          東海軍校下二個          大発サバンネレノ          軍需品輸送ニ從事</p>	<p>去冬丸一〇〇入敵          攻撃スルモ効果不明          命時彈射器十二個          砲六發 砲臺二個          運送ハ船單用船輸          送シタメオレレ行          三五五サバンネレノ          音知知知知知知知知          四散又知知知知知知知知          制圧又知知知知知知知知          知知知知知知知知知知</p>
<p>大奔ヲ以テ濤哨          戒実艦</p>	<p>對揚陸戦ヲ非          常部署發動          訓練実艦</p>	

050

0207

百 九 八

晴	高雲薄曇	晴	高雲薄曇
南之西	南東	南之西	南東
七	二	七	二
二六・七	二九・〇	二六・七	二九・〇
〇五・一	〇一・五	〇五・一	〇一・五
南之西	南東	南之西	南東
二六・八	二五・三	二六・八	二五・三
一一・二	一〇・二	一一・二	一〇・二

隊

地

<p>一 吉野丸 二 八多丸 三 見下 四 一五三 五 一五三</p>	<p>一 三三號 船カバン 二 大分 船カバン 三 大分 船カバン 四 大分 船カバン 五 大分 船カバン</p>	<p>一 三三號 船カバン 二 大分 船カバン 三 大分 船カバン 四 大分 船カバン 五 大分 船カバン</p>
---	---	---

0208

48.

	三三	三三	三二
	バ		ヤ
海島	一ニ	三六八	南西
海島	三〇四〇	二九七	南西
海島	三〇一四〇	三〇〇	南西
海島	二一四	二六七	南西
海島	二〇一四〇	二九五	南西
海島	二〇一五〇	二八八	南西
海島	二一四	二六四	南西
海島	二〇一四〇	三〇〇	南西
海島	二〇一四〇	三〇一	南西
特 九 第			
部			
長久丸 ハロウミカシ			長久丸 ハロウミカシ
長久丸 ハロウミカシ			長久丸 ハロウミカシ
長久丸 ハロウミカシ			長久丸 ハロウミカシ
長久丸 ハロウミカシ			長久丸 ハロウミカシ

		三六			三五			三四		
南六	晴	〇五一一	二四五	南四五	南	三八、リ	南九	南	南六	
南三	本曇	一〇一三〇	三五、ニ	南五	本曇	三九、八	南四	南八	南八	
南三	薄曇	四一〇	二三七	南六	雨	二九、〇	南五	南五	南五	
別										
隊										
				一七五丸 〇五三〇の千し着 一七五丸の千し着						
				一七五丸の千し着 護る昭南ニ向フ 一七五丸の千し着 常品輸送ニ從事		〇八三〇 敵機部隊來襲 四機ニ迎撃砲九発 砲銃息一〇分撃退 詳細戦斗詳報於(原)			一七五丸の千し着 護る昭南ニ向フ 一七五丸の千し着 常品輸送ニ從事	
										一七五丸の千し着 護る昭南ニ向フ 一七五丸の千し着 常品輸送ニ從事

0210







50.

一、摘要

兵器

自昭和十九年七月一日  
至七月三十一日

第九特別根據地隊

(一) 主要兵器

其ノ概要参考(一)ノ如シ

(二) 主要兵器ノ故障缺損

當隊戰鬥詳報第十九号参照

(三) 改造修理新設

特記事項ナシ

(四) 消耗兵器

當隊戰鬥詳報第十九号参照

(五) 保存整備

良好ナリ

0213

二卷考

(一) 主要兵器

(二) 砲術科

制式品名	數量	記	事
四〇口径安式十五糧砲	三		九式從動二糧探照燈
四〇口径四式十五糧砲	二		須式九〇糧探照燈
四〇口径安式十二糧砲	三		九二式三〇糧探照燈
四五口径三年式十二糧砲	八		一四式三五米測距儀
四〇口径三年式八糧高角砲	六		九三式三五米測距儀
九六式三五糧二聯裝機銃	四		武式三五米測距儀
九三式十三糧聯裝機銃	三		三五米測距儀
〃 單裝機銃	二	內九八派遣隊	ステレオ式二米高角測距儀
九式一五〇糧探照燈			一三式距離時計
			度距率盤 甲

51

三八式小銃	九九式小銃	一一式輕機銃	九九式輕機銃	九二式重機銃	七倍稜鏡双眼鏡	十二糧及眼望遠鏡	彈着觀測鏡三型	八糧	十二糧高角双眼望遠鏡	八九式高角射擊盤	八九式彈着時計	一三式測的盤
三五	一〇三〇	二三	三七	五四	五一	四	三	四	一	一	三	二
	內三八派遣隊		內三八派遣隊	內三八派遣隊	內三八派遣隊	內三八派遣隊						
九三式小火炮發射器	鐵線	携帶電話器二型	防彈衣	九二式高聲電話器	乍候用檢知器	物料用檢知器	夕テ器	一〇式擲彈器	八九式重擲彈筒	陸式拳銃	一番型拳銃	一四式拳銃
三	五九	三〇	九〇	一	二	二	二〇	三〇	六五	一一	三	三三
	內三八派遣隊	內三八派遣隊										內三八派遣隊

0215

後鏡 雙眼鏡 一型	七倍 後鏡 雙眼鏡	一三 糧 雙 眼 望 遠 鏡	亞 式 信 号 燈	八 糧 雙 銀 望 遠 鏡	九 七 式 信 号 拳 銃	(四) 航 海 科	“ 重 機 銃	“ 五 五 糧 砲	“ 十三 糧 機 銃	“ 三 吋 高 尙 砲	押 收 四 七 吋 砲
一七	二八	二	八	九	七		四	一	四	二	二
				莫 滅 信 号 燈	短 艇 羅 針 儀			鐵 線 銃 (大) (小)	押 收 拳 銃	ト ニ フ ン 自 動 拳 銃	押 收 輕 機 銃
				四	三			各 一 口	一 五	四	一 二

0216



以下特記事項十二

九三式短電波鑑査機改二	九二式電波鑑査機改二	九二式特受信機改四	九式四号送信機改一	九五式短五送信機改一	九五式短五送信機	假称軽便探偵機蒙二号
二	二	七	一	一	一	三〇
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
丁M式輕便無線電機改二	丁M式短移動無線電機改二	丁M式短移動無線電機改三	二式一号電波探信儀改一	三式一号電波探信儀改一	試製三式中五号送信機	假称軽便探偵機蒙二号
二	七	七	二	一	一	三〇
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

(ホ) 通信科

兵器

昭和十九年七月一日  
至昭和十九年七月五日

第九特別根據地隊

一稿要

(一) 主要兵器

主として通信用探照燈用電波探信儀及応急英燈用として陸上ニ裝備セル内  
火電機ニテ何とモ完備運轉状態良好ナリ

(二) 主要兵器故障致損

記事ナシ

(三) 改造新設修理

六月上旬迄隊着、四〇火電機工作部ニテ整理中

(四) 消耗兵器

記事ナシ

(五) 保存手入

現有兵器八敵産品ノ外大部分新設裝備ノモノニテ保存手入ノ概不良ナリ

0219

主要兵器

種類	型式	数量	記
三KVA 二二〇V 単相 ガンリン交流発電機	五〇サイクル (陸用)	三	
三KVA 二二〇V 単相 ガンリン交流発電機	五〇サイクル (陸用)	一	
六KVA 二二〇V 単相 ガンリン交流発電機	五〇サイクル (陸用)	二	
三KVA 一五〇V ガンセル交流発電機	(移動用)	一	
六KVA 二二〇V 三相 ガンセル交流発電機	六〇サイクル (陸用)	一	
三KVA 一五〇V ガンセル交流発電機	(陸用)	二	
一〇〇V 交流発電機	(陸用)		七月二十五日敵爆薬ニ依リ未整理数量不明
三〇KVA 二二〇V 三相 ガンセル交流発電機	五〇サイクル (陸用)	二	一基工部部ニテ整理中
七〇〇W ガンリン直流発電機	(移動用)	二	
六六〇W 八八〇V 二二〇V 三相 電動直流発電機	五〇サイクル	四	

0220



一五八VA 二二〇V 三相  
千石ル交流発電機  
(陸用)  
二一

機関 自昭和十九年七月一日  
至昭和十九年七月三日 第九特別根據地隊

一 摘要

(一) 主要な機関(機動艇)の故障欠損

記事ナシ

(二) 機関 (機動艇)の整備及使用

(三) 特型運貨船

記事ナシ

四 押収船

押収船八各船共相当老朽ニシテ故障多ク任務遂行上ニ相当苦勞ヲ感

シツ、アリ

54  
二 機動艇及陸上機関ノ使用時数表

(終)

種別	数量	使用時数	記
特型運貨船	六	四三八〇	
變船	五	二八八〇	
海上クレン船	一	五〇〇	
交通船	一	二〇〇〇	
水船	一	五〇〇〇	
三KVA 交流発電機	一	三〇〇〇	
三KVA 直流発電機	一	六〇〇〇	
三KVA 交流発電機	三	一八〇〇	
六KVA 交流発電機	一	三〇〇	
二五KVA 古流発電機	二	一五〇〇	
四KVA 交流発電機	二	二五〇〇	一基工作部ニ於テ使用中
二〇KVA 交流発電機	二	九〇〇〇	

0222

(4) 燃料 潤滑油 消耗品 搭載

三 燃料 清水 其他 軍需品 搭載  
 補給 搭載 共ニ 概 不同 滑ニ 實施 サレテ 自動車ノ 部分品ハ 補給 怠ノ 如ナラ  
 ザル 減アリ

乗合 側車 付 自動車	一	三八一〇	
消防 自動車	一	四〇一〇	
撒水 車	一	三五一〇	
貨物 自動車	三二	八九七五	右
乗用 自動車	二五	三八九一	使用済数ハ 未ニ 報告 未ニ 行
交流 発電 機	二		使用済数 未ニ 報告
一五KV A 交流 発電 機	二	三〇〇一〇	
六KV A 交流 発電 機	二		
電機 直流 発電 機	四	一五〇一〇	

(四) 燃料潤滑油消耗品費額

燃料	主要燃料倉量	期	期	
			自	至
一號普通揮発油(急)	一四、〇〇〇	間	自七月一日	至七月三十日
二號石油(急)	一〇、八五〇			
輕油(急)	一、五〇〇			
一號重油(急)	一六			計

燃料	搭載	月	搭載 (受入場所)	
			日	部
一號普通揮発油(急)	一〇、〇〇〇	七月一日	海軍省	計
二號石油(急)	四、〇〇〇	七月七日	海軍省	
輕油(急)	三、〇〇〇	七月九日	海軍省	
	一、〇〇〇	七月十日	海軍省	
	一、〇〇〇	七月十日	海軍省	
	三、〇〇〇		海軍省	
	一〇、〇〇〇		海軍省	
	三、〇〇〇		海軍省	
	三、〇〇〇		海軍省	
	計			

(終)

一、摘要  
 工作 自昭和十九年七月十一日  
 至昭和十九年七月三十一日

第九特別根據地隊

(一) 修理、改造新機  
 記事十三

(二) 工作機械、整備使用  
 記事十三

系 原 油 占 綿 布 六 %	潤滑油			
	二號	一號	一號	二號
	塊炭	礦油	礦油	礦油
	(五)	(五)	(五)	(五)
	七〇	〇	〇	〇
八〇	五 四 六	四 〇 〇	四 〇 〇	七 〇
八〇	五 四 六	四 〇 〇	四 〇 〇	七 〇

(終)

(三) 重要十九機械之故障欲換  
記事ナシ

(四) 隊内工作

國津丸潜水艇揚揚作業  
所要延工数 八十四工数(二工数六時間)  
口潜水艇時間 八十六時間

(一) 隊内工作件数

科	種別	全屬	未共
航	海	8	5
	術	17	9
機	雷	3	4
	信	2	4
水	警	3	7
	運	4	7
内	水	25	6
	警	29	6
務	運	8	10
	用	8	11
科	補	8	2
	機	8	2
車	輛	29	4
	工	30	4
業	工	9	8
	業	14	8
醫	務	9	9
	計	7	9
主	計	9	14
	計	9	14
計	計	128	78
	計	136	80

(二) 隊内工作工数

59

名品	種別
鋼殊特	鋼
鋼度速高	
鋼具道	
鋼和	
鋼棒	棒
鋼平	
鋼形山	
鋼板	
鍍鉛垂鋼板	鍍鉛鋼板
鍍鋼	
棒鍍真	真鍍
板鍍真	
鋼黃媽	鋼
棒鋼	
鋼繼	鋼
板鋼	

四隊内工作材料費額  
 不金屬材料

184 7	動電動移 械機操鎖
615 4	鞞
246 4	シキヤ 器接銘
120 4	器水潜

(三) 隊内工作機械使用時數(時分)

工數	別細	種別
213	治鍛	金
0	械機	
98	上仕	
119	金板	屬
115	接鏡	
0	造鏡	
10	器工機	
528	真人延	木
119	水潜	
614	具水	
85	体船	具
10	器工機	
818	真人延	

0227

只非金屬材料

枚 料	高 品	呼 称	名 品	種 別
0	1	枚	板ニルP	泥 言 板
0	0	冠	山ニルP	
0	6	"	棒接倍鉄	鋸
0	5	"	棒接倍鉄	
0	0	"	棒接倍鉄	
0	1	"	棒接倍鉄	接
0	15,000	立	又ガ素酸	
0	40	冠	ナベカ	棧
0	5	"	鐵白	
0	2	"	鐵鍊真	鐵
0	60	瓦	鐵銀	
0	29	枚	板キツ	棧
0	0	"	板鉛垂	
0	0	"	板鉛	其 他 板 金

枚 料	高 品	呼 称
0	0	冠
0	0	個
0	2	"
0	0	"
0	7	"
0	0	"
0	0	"
0	3	枚
0	0	"
0	1	冠
0	0	個
0	1	枚
0	0	冠
0	0	個
0	0	"
0	1	枚

0228



58

残修理 料	残需 料	呼 称	名品	種 別
0	0	冠	釘螺鐵真	釘 類 其 他
0	10	"	釘螺鐵	
0	90	"	釘 鉄	
0	1	"	釘 銅	
0	0	"	鉄 銅	
0	0	"	鉄 鑄真	
0	40	個	鍍	
0	2	板	板子硝	
0	1	冠	ス=ワ	
0	2	々	グツラ	
0	10	立	精木 ルコリア	
0	40	枚	紙硝硝	

(終)

残修理 料	残需 料	呼 称	名品	種 別
0	0	個	松江	角
0	70	"	杉	材
0	0	"	檜	
0	0	"	杉	丸火材
0	0	枚	松	板
0	98	"	杉	
0	0	"	松江	
0	25	"	檜	
0	0	"	樹松	
0	5	"	樅	材
0	0	"	檜	
0	0	"	樺	

0229



二治療品被服糧食飲料水其他衛生ニ關係アル物品ノ搭載補給

治療品ハ概テ最悪ノ場合ヲ考慮シ分散格納トシ補給ノ都度直ニ分散戦

闘即應ニ萬遺憾ナカラシメ日常診療ノ不便ヲ一掃ニ決戦下ニ對処シツアリ

治療品ハ概テ航空便ニテ是備療用品應急醫療箱外テ人莫硫酸キニーネ

錠外ニ莫テ補給セリ

飲料水ハ七月ニテ音敵ノ砲爆要ヲ度々時飲料水ノ断水ヲ見ケルモ六三日ニテ平

常通りニ復舊シ戰傷者治療ニ幾分不便ヲ感ゼルモ本病舎附近ノ断水ハ

道ニ平常ニ復セリ

省略

三衛生ニ關スル施設改造

省略

四寄港地舎營地ノ衛生狀況

省略

五被服寢具防寒防熱換氣入浴寄醫醫務衛生ニ關係アル事項

省略

六衛生狀況

1) 受療患者ノ狀況

受療患者延數六、一五〇名ニ對シ一日平均一三、三〇名ニテ前月同様大  
部分ハ「コラリヤ」罹患者ニテ前月比ヨ「マヤヤ」新罹患者一五八名ニ對シ  
本期間中一二五名ナルモ「コ」防空隊七「防」空隊ヲ綜合セバ殆ク下同様、  
罹患者率ヨ示セリ

2) 防疫茲ニ一般傷病豫防実施

「コラリヤ」防疫作業ハ前月ニ引續キ全力ヲ擧ゲテ實施セシメタルモ先般露露  
「コ」苦力、遁逃ニヨリ防疫作業ニ少カラズ支障來タズモ元數次平常通り  
ニ復歸シツ「ヤリ」

3) 衛生ニ關スル諸検査ノ概要

水体重ノ増減

省 略  
省 略

七、傷者收容所茲ニ收容ノ狀況

二十五日午前敵艦砲射甚道前敵上陸・懼シ「コ」トノ情報ニヨリ病舎修転

戦時中、敵艦隊指揮所ニ突入シテ決意シ直ニ入室患者ノ中重症一名ヲ  
残シ全部戦闘配置ニ復帰セシメ醫務科員一同重要書類治療用器  
具材料等ヲ各自携帶戦闘指揮所ニ移動セリ途中終始敵砲弾炸  
裂下ニ入り先モ無事総員到着直ニ治療所ヲ開設七名ノ傷者ヲ收容応急  
處置ヲ施セリ午後一時敵ハ上陸ヲ企図シ非ズ敵機動部隊避退セルヨリ  
直ニ現病舎ニ復帰シ爾後ノ傷者ヲ合計シ九名ノ重軽傷者ヲ收容更  
ニマシテ患者ニシテ服薬中ノ者ヲ再入室セシメタリ(敵襲時ノ在室患者數  
二二九名)

### 八、傷病者後送ノ概要

今回ハ後送ノ要スル戦傷者僅カニ六名其他五名ノミニテ内後送可能ノ重症  
者四名ハ幸ニ航空便ヲ得テ七月二十七日第百一海軍病院ニ送院セリ

九、戦闘死傷者ノ概要 別紙戦死傷者表ニ依ル

(終)



備考 准士官以上ナシ 下士官兵一八名

〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
砲員	砲員	機銃員	銃隊員	砲員	砲員	傳令	運糞	兵	兵
七歳	上水	上水	水	水	水	水	水	水	水
千葉辰雄	水口喜子男	相澤作三郎	清水春吉	丸山勝明	重森彌吉	島田仁	柴今朝人	小笠原鶴松	小笠原鶴松
右前胸部擦過銃弾片創 右腕部首管銃弾片創	右肘部首管銃弾片創	左前胸擦過銃弾片創	左大腿貫通銃弾片創 左大腿骨骨折	右手掌貫通銃弾片創	右足貫通銃弾片創	爆風傷左眼膜裂創 左眼結膜充血(死傷)	右下肢其狀銃弾片創	左下腿貫通銃弾片創	左下腿貫通銃弾片創
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇





第七〇防空隊			上川名誠一		
戰斗	戰斗	戰斗	戰斗	戰斗	戰斗
場所	場所	場所	場所	場所	場所
配置	配置	配置	配置	配置	配置
職	職	職	職	職	職
氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
創傷	創傷	創傷	創傷	創傷	創傷
名	名	名	名	名	名
行衛死	行衛死	行衛死	行衛死	行衛死	行衛死
不明	不明	不明	不明	不明	不明
即死	即死	即死	即死	即死	即死
重傷	重傷	重傷	重傷	重傷	重傷
傷	傷	傷	傷	傷	傷
輕傷	輕傷	輕傷	輕傷	輕傷	輕傷
送院	送院	送院	送院	送院	送院
摘要	摘要	摘要	摘要	摘要	摘要
通信員	通信員	通信員	通信員	通信員	通信員
山名 惣吉	高橋 滿雄	川名 弘	飯川 政廣	中村 日出雄	中村 悦治郎
右大腿血管砲弾片創自定胸砲弾片創 同第一股骨枝砲弾片左下腹貫通砲弾片創 同排骨枝砲弾片右半身穿通狀砲弾片創左指 指射所砲弾片創同第一指骨枝砲弾片創	腹部擦過砲弾片創 爆風傷左右鼓膜裂創胸部挫傷(砲弾)	左前膊血管砲弾片創同腕骨枝砲弾片折 左手背挫創右耳後部挫創(砲弾)	右下腿貫通砲弾片創	左前膊血管砲弾片創同腕骨枝砲弾片折 左手背挫創右耳後部挫創(砲弾)	左前膊血管砲弾片創同腕骨枝砲弾片折 左手背挫創右耳後部挫創(砲弾)
陸軍	陸軍	陸軍	第一〇二海軍航空基地隊	第一〇二海軍航空基地隊	第一〇二海軍航空基地隊
○	○	○	○	○	○

0237

戦場	戦場	職官	氏名	創傷	名	行跡	不明	即死	重傷	軽傷	送院	摘要
共島		兵補	ウスマン	左肩脚部首管を断れり元創同左肩脚骨を損傷す 同手受通筋断り元創同左肩脚骨を損傷す 左下腿射断筋断り元創同左腓骨を損傷す								
			オスマン									

海軍特務員(兵補)

會計経理 昭和十九年七月一日  
昭和十九年七月三日

命令達並報告の概要

第九特別根據地隊

(終)

件名	發送日	摘	録
海法令第一四号	七一	海軍特務員(兵補)の特別根據地隊	

二七月中金銭物品、受拂状況

不経費出納、現況

前月より裁高

五二九、一四一、四四〇

0238

本月受込高

九五八、一六〇、〇〇〇

本月分割高

三五四、一二六、七七〇

本月支拂高

二〇八、五六三、七九〇

差引残高

九二四、六一〇、八八〇

被服糧食需品及拂補給状況

水道買ニヨリ補給セルモノ

生糧品

一、七八四、五四〇

需品

二、三四九、〇五〇

其、他、第一口、海軍軍需部より補給

(終)